

内容解説資料

巻頭

新型コロナウイルスの
3つの顔を知ろう！

じっきょう 家庭科資料

(通巻 80 号)

みんなで家庭科を

No. 65

もくじ /

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～偏見や差別が引き起こす影響～	1
葉酸と学業成績，障害児，鬱病，認知症	6
消費者庁におけるSDGsの取組について	12
家庭科教育支援セミナー報告	17

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～偏見や差別が引き起こす影響～

日本赤十字社医療センター 国際医療救援部 宮本 教子

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症は私たちの世界を一変させ、「新しい日常＝ニューノーマル」といった言葉と考え方をじわじわと浸透させています。残念ながらお亡くなりになられた方々とそのご家族には心からお悔やみ申し上げます。

さて、この感染症の影響は広範囲にわたり、感染者の身体的な苦痛だけでなく、緊急事態宣言が発令され、日本中で不要不急の外出を控えるなど私たちの生活が制限されました。結果的に経済的な損失も発生しています。

一方、私たちのところへの影響に目を転じてみる

と、インフォデミックと呼ばれる SNS での誤情報が氾濫し、マスク不足への不安を発端としたトレットペーパーなど紙製品の買い占めでは大きな混乱が生じました。また、感染患者とその家族に対するウェブサイトでの誹謗中傷や雇用止め^[1]、医療従事者の子供の登校や登園を拒否するなどの差別^[2]も報告されています。

これらの社会現象は私たちの「不安」を引き金としています。そして、その結果発生する後者のような「偏見や差別」をそのままにしておくと、結果的にウイルスの封じ込めを困難にしてしまうのです。本稿では日本赤十字社が公開している「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」^[3] (図1) を基に

[1] NHK「新型コロナウイルス感染者・家族遺族の証言」特設サイト新型コロナウイルス (2020)

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/testimony/> (最終閲覧日 2020.7.12)

[2] 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている医療従事者へのご理解と応援をお願いします」報道発表資料 (2020.5.1)



新型コロナウイルスの 3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

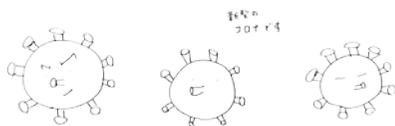


図1 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」
© 日本赤十字社

その影響を解説します。

2. なぜ差別が生まれてしまうのでしょうか

私たちは生存本能により「命を脅かすもの」・「未知のもの」を恐れます。本来、この「恐怖心」は人間の生存率を高めるための大切な働きとなります。そして、今回の感染症を恐れ、それを回避／撃退するために行動することはとても理にかなっています。しかし、その恐れを正しい相手に向けられなくなった時に差別の種が生まれてしまうのです。

私たちの脳は見えない対象を恐れることがとても苦手で、今回の恐れる対象であるべき新型コロナウイルスは肉眼では見えません。さらに新しい病気であるため未知な要素が多く、ますます不安が高まってしまい、その不安や恐れは人間の生存本能を刺激します。そのため、根底にある生存本能が警告している脅威＝敵をどうにかして捉えることによってその不安を解消しようと、「見えない」・「解らない」敵に代わり「見える」・「解る」特定の対象を必要とします。

そして、そのまますり替えられた「見える」対象を敵と見なして嫌悪し、嫌悪の対象を差別して遠ざけ、排除（生存本能に基づいた回避／撃退）してしまえば、かりそめの安心感を得ることはできます。しかし、結局は一時的に不安を解消できるものの、本当の敵を見失ってしまうことになります（図2）。

これが、今回のウイルスを連想させる

地域や人、職業への嫌悪・偏見・差別が生まれる仕組み^[4]なのです。

3. 差別が関連する負のスパイラルとは

差別が生まれる仕組みについては、「ウイルス」・「不安」・「差別」というキーワードを使って説明しました。次に、これらのキーワードがなぜウイルスの封じ込めを困難にしてしまうのか、新型コロナウイルスが持つ3つの顔＝3つの感染症という例えを用いて解説します。

第1の感染症は「病気そのもの」です。このウイルスは感染者との接触でうつることが分かっており、感染すると風邪症状や重症化して肺炎などを引き起こすことがあります。症状等の詳細については既に多く論じられているため、この場では割愛します。

第2の感染症は「不安と恐れ」です。ワクチン開発もままならず、場合によっては命を脅かすこともある不明要素の多い新しい病気＝第1の感染症によって私達には不安や恐れが生まれます。その不安や恐れは心の中でふくらみながら私たちの気持ちをふりまわし、偽の情報に乗せられてしまうなど、冷静な対応ができなくなるだけでなく、恐ろしいことに人から人へ瞬く間に伝染していくのです。

第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。不安＝第2の感染症によって発生する仕組みは前述のとおりですが、私たちが今回の感染症に関連する人や地域を日常生活から遠ざけたり差別したりしてしま

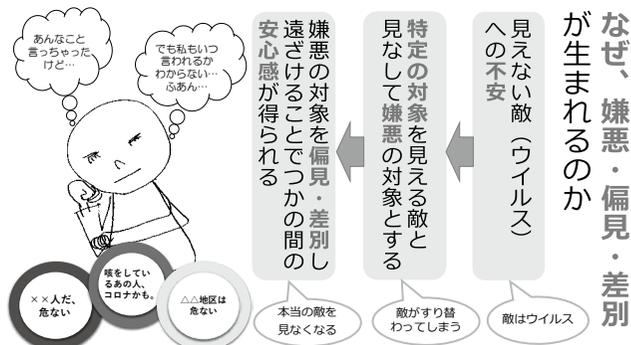


図2 差別が生まれる仕組み（「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」より）© 日本赤十字社

[3] 日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」(2020)
http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html (最終閲覧日 2020.7.12)
 [4] 『赤十字NEWS』 2020年4月号2・3面「社会を分断する「不安」の感染」

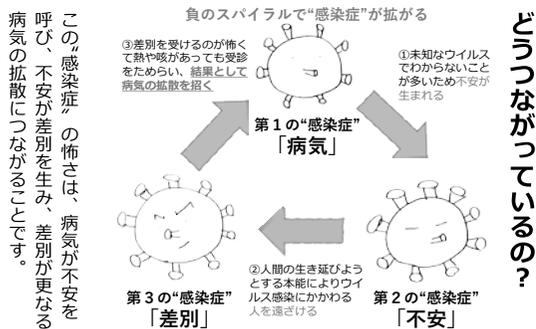


図3 負のスパイラル（「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」より）©日本赤十字社

うと、ひいては人と人の信頼関係や社会のつながりを分断してしまいます。

前章の仕組みのとおり第1の病気は第2の不安を呼び起こし、第2の不安は第3の差別を生み出すきっかけになり得ます。さらに、この第3の差別や非難が、今度は自分自身に向けられることを恐れるあまり、感染症が疑われるような症状が出ても検査や受診をためらう人々が出てきてしまう^[5]と、社会は正しい治療や感染防止策を行うことができず、結果的に感染症のさらなる拡散を許してしまうこととなります（図3）。

実際に、2020年7月中旬時点で一人も感染者が報告されていない岩手県では、達増拓也知事が「誰もが感染する可能性がある。感染は悪ではないと心に刻んでほしい」「第1号になっても県はその人を責めない」と会見して、感染者を中傷する風潮があることに警鐘を鳴らすとともに、体調の異変を感じたらすぐに相談するよう県民に訴えています^[6]。

つまり、第3の差別がさらなる第1の病気の拡大を招いてしまう可能性があり、このままでは3つの感染症の連鎖がどんどんつながってしまいます。では、こうして生まれる負のスパイラルを断ち切って感染症を防ぐため、私たちにはどのような工夫ができるのでしょうか。

4. 私たちにできること

まずは第1の感染症を予防することです。当たり前のことですが、一人ひとりが手洗い・咳エチケット・三密を避けるなどの衛生行動を自分のためだけでなく、周りの人々のためにも行うことが大切です。

次に第2の感染症である不安にふりまわされないことです。そのためには、落ちつきを取り戻せるようなセルフケアが効果的で、例として以下のような方法を紹介し

- ★まずはリラックス、立ち止まって一息入れる
- ★自分自身を見つめて、状況を整理してみる
- ★趣味や心が晴れる活動に時間をとってみる
- ★感染症に関する情報を制限して距離をとってみる
- ★いつもの生活習慣やペースを保つよう心がける

第3の感染症である差別については、まず、これを強めてしまう社会の不安を自らが煽らないように心がけることが大切です。手にした情報の信頼性を冷静に考えて不確かな情報の拡散には手をかさず、また、他の人の発信する差別的な言動には同調しないようにしましょう。

今、社会ではそれぞれの人々がそれぞれの場所で感染拡大を防ぐため、それぞれの役割を担っています。日常生活に必要な職種、いわゆるエッセンシャルワーカー（食料・流通・電気・ガス・交通・医療など）だけではなく。小さな子どものいる家庭、高齢者、治療中の患者とその家族、外出を控えている家庭、リモート授業を開催する教諭など…、この事態に対応しているすべての方々をねぎらい、敬意を払うことも差別や偏見を防ぐことにつながります。

5. 教育現場での取り組み事例

最後にこれまで紹介してきた「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」（日本赤十字社公式サイトからダウンロード可能）などを活用することに

[5] 国際赤十字・赤新月社連盟 心理社会センター、ユニセフ、世界保健機関「Social Stigma associated with COVID-19」(2020)

<https://pscentre.org/?resource=social-stigma-associated-with-covid-19>（最終閲覧日 2020.7.12）

[6] 『岩手日報』2020年5月16日「『県内第1号の感染者には優しく』知事、中傷する風潮に警鐘」

<https://www.iwate-np.co.jp/article/2020/5/16/78121>（最終閲覧日 2020.7.12）

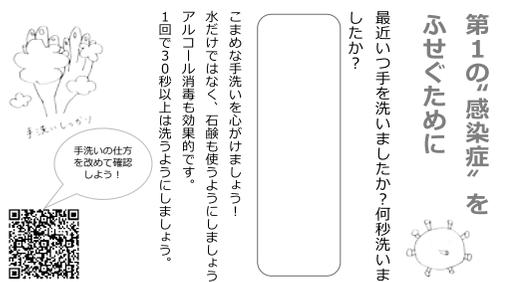


図4 教材内容1 (「振り返りシート新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」より)©日本赤十字社

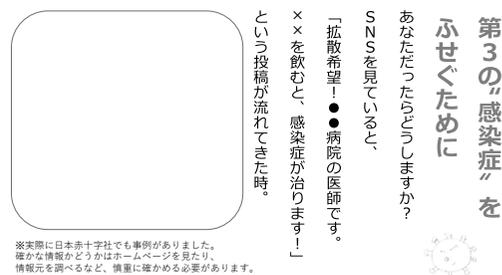


図5 教材内容2 (「振り返りシート新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」より)©日本赤十字社

よって、この感染症について正しく理解し、病気の予防・不安の軽減・差別の防止を実践できるよう、学校教育の中で取り組まれている事例を紹介します。

なお、現在この資料は新型コロナウイルス感染症の予防にかかわる指導資料として文部科学省のウェブサイトで紹介^[7]されています。大阪府では府教育庁において、偏見や差別による負のスパイラルで感染症が広がることを防ぐための資料を作成し、学校再開に合わせて府立学校へ送付^[8]しています。7月8日の吉村洋文知事会見で上記を報告した際にも3つの顔の資料を用いて負のスパイラルについて説明を行いました^[9]。

また、日本赤十字社では上記資料を学んだ後に活用できる「振り返りシート」^[10] (図4・5)を作成しています。このシートも赤十字の公式サイトからダウンロード可能です。

このような教材を基に、日本赤十字社の宮崎県支部では県内3つの高校の有志生徒を対象に「新型コロナウイルス感染症オンライン講座」を5月に実施しました。3つの顔と手洗い・咳エチケットなどについて説明しながら、普段の行動を見直す講義を行った後、生徒たちがそれぞれグループワークで今



図6 オンライン講座の様子 ©日本赤十字社

回の感染症によって変わってしまったことや困ったこと、気がついたことなどを意見交換して「今、自分たちができること」を話し合いました^[11] (図6)。参加者は32名、YouTube上のオブザーバーを合わせると100名以上の参加があり、内容の詳細は日本赤十字社公式サイトに掲載されています。

参考までに、さらに解かり易い解説をめざして作成した3分程度の動画「ウイルスの次にやってくるもの」^[12] (図7)も紹介します。差別や偏見を生み出す不安に対処する方法を示したアニメーション

[7] 文部科学省「新型コロナウイルス感染症の予防～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」(2020) https://www.mext.go.jp/content/2020501-mext_kenshoku-000006975_5.pdf (最終閲覧日 2020.7.12)

[8] 大阪府「通知、お知らせ等」令和2年6月25日児童向け資料「しんがたコロナについて じぶんの 気もちに気づく」及び生徒向け資料「新型コロナウイルス感染症に伴う偏見・差別に気づくために」について (2020) <http://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/syoutyuukou/tuuti.html> (最終閲覧日 2020.7.14)

[9] Lmaga.jp「「感染した人に罪はない」負のスパイラルに陥らないよう嘆願」(2020) <https://www.lmaga.jp/news/2020/07/136202/> (最終閲覧日 2020.7.13)

[10] 日本赤十字社「～新型コロナウイルスを正しく解説～子どもたちの心と体を守るためにご活用ください!」(2020) http://www.jrc.or.jp/activity/youth/news/200416_006157.html (最終閲覧日 2020.7.12)

[11] 日本赤十字社「【全国初の青少年赤十字オンライン講座を実施】～新型コロナウイルス感染症について学ぶ～」(2020) http://www.jrc.or.jp/activity/youth/news/200603_006218.html (最終閲覧日 2020.7.12)

で、3つの顔資料を基盤としており、YouTubeにて公開しています。

この動画については全国の学校にて朝の会やホームルーム、人権学習などの授業やクラブ活動などで活用しているとの報告が日本赤十字社に寄せられています。また、家庭での学習教材として紹介もされています^[13]（ただし、資料データの加工を希望する場合は日本赤十字社に申請が必要）。

新型コロナウイルスは3つの顔を持って私たちの生活に影響を及ぼしているわけですが、このウイルスとの戦いはどうやら長期戦の様相を呈しています。本来の敵が何なのかを見極め、誰もがみなそれぞれの立場でできる役割を担い、ひとつになって不安や差別が生み出す負のスパイラルを断ち切ることが私たちにとって必要となっています。一方、今回



図7 「ウイルスの次にやってくるもの」©日本赤十字社

の困難を乗り越える経験によって、私たちが今後も差別や偏見に対応できる考え方を持つことができるようになること、ピンチをチャンスに変えることもできるはずと信じています。

令和3年度用 実教出版の家庭科教材

【成分表】

オールガイド食品成分表 2021

- ◆「日本食品標準成分表 2015年版（七訂）」の全食品（2,191品目）を掲載しています。
- ◆「日本人の食事摂取基準（2020版）」に対応しています。 B5判／408ページ 定価 880円（税込）

カラーグラフ食品成分表 2021

- ◆「日本食品標準成分表 2015年版（七訂）」準拠
- ◆「日本人の食事摂取基準（2020版）」に対応しています。 AB判／240ページ 定価 748円（税込）

【その他資料集・サブテキスト】

資料アクティブ家庭科 三訂版 2021	B5判／208ページ	定価 792円（税込）
基本マスター フード&クッキング レシピ+成分表 四訂版	B5判／104ページ	定価 550円（税込）

【実教出版の家庭科準教科書】

※文部科学省検定済教科書が発行されていない科目について、弊社独自に編修・発行したテキストです。

生活産業基礎

B5判／160ページ 定価 737円（税込）

調理 1

B5判／176ページ 定価 1,430円（税込）

調理 2

B5判／160ページ 定価 1,320円（税込）

栄養

B5判／160ページ 定価 1,430円（税込）

リビングデザイン

B5判／144ページ 定価 1,540円（税込）

生活と福祉

B5判／192ページ 定価 1,430円（税込）

生徒用学習ノート及び教師用指導資料完備

ファッション造形

B5判／192ページ 定価 1,650円（税込）

[12] 日本赤十字社「ウイルスの次にやってくるもの」（2020）

<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>（最終閲覧日 2020.7.12）

[13] 石川県立小松高等学校「新型コロナウイルス対応に関するお知らせ」（2020.5.18）

https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/komafh/bbses/bbs_articles/view/239/afef72dd833b91ce8b5cc8aee9c32d9c?frame_id=422（最終閲覧日 2020.7.14）

神奈川県立高津擁護学校「家庭でできる学習の紹介」（2020）

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/takatsu-sh/hogosha/katei-gakushu.html>（最終閲覧日 2020.7.14）